

エコアクション21

2024年度 環境経営レポート



エコアクション21[®]
認証番号0006827

(対象期間：2024年4月～2025年3月)

吉岡興業株式会社

発行日：2025年4月26日

ごあいさつ

吉岡興業株式会社は、産業機器を販売する専門商社です。昭和31年の設立以来、主要得意先である三菱重工業株式会社様・川崎重工業株式会社様を始めとして、多くのお客様から絶大なる信頼とご支援を賜りながら堅実な経営を営んで参りました。

以下、「環境経営レポート」としての取り組みをまとめましたので、当社の取り組みと姿勢をご理解頂くとともに、皆様からのご意見、ご指導、ご指摘を頂き、今後の環境活動に活かしていきたいと存じます。

このたび、当社はエコアクション21に組み込み、地球環境に優しい商社として新たな一歩を踏み出しました。これを全従業員に周知徹底し、従業員一人ひとりが環境意識を高め、継続的に環境負荷の低減に取り組むことを宣言します。

吉岡興業株式会社
代表取締役 吉岡 洋明

環境経営方針

【 基本理念 】

益々深刻化する地球温暖化への対応や有限である資源の有効利用は、人類共通の重要課題です。

吉岡興業株式会社は、生産技術代行商社として日本のものづくりに携わっており、工作機械・工作機械周辺機器・切削工具・油圧機器・空圧機器・メカトロ機器の販売及び、工場施設工事・FAシステム設計製作工事・機械加工の受託、中古機械の買取・販売を行っています。また地域密着型からHPやソリューションサイトを利用した集客で商圏を拡大し、物販から「商談の中で価格が決まっていくエンジニアリング営業」への転換を行っています。

私たちは、「私たちの宇宙の中心はお客様です」という考えに基づき、企業の社会的存在価値を高め続けるために、地球環境保全への取り組みを、当社においても重要課題に位置づけました。

企業活動を通じて、経営における課題とチャンス定期的に明確化し、環境負荷の低減や環境に貢献する活動を実施し、全従業員一体となって自主的・積極的に、地球環境保全への取り組みを進めて参ります。

【 行動指針 】

1. 具体的に次のことに取り組みます。

- ①. 二酸化炭素の排出量の削減のため、電力・自動車燃料の消費を削減する。
- ②. 廃棄物排出量削減のため、コピー用紙・ダンボール等の使用量削減やリサイクルを推進する。
- ③. 水使用量削減のため、上水の使用量の節減をする。
- ④. 課題とチャンスの取組の推進。
- ⑤. 社屋周辺の清掃活動に取り組む。

これらについて環境経営目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 全従業員に対してこの環境経営方針を周知徹底させるとともに、環境問題意識の向上のため、啓発と教育に努めます。

3. 環境関連法規制や当社が上記で約束したことを遵守します。

制定日：2010年 4月 1日

改定日：2023年3月19日

吉岡興業株式会社
代表取締役

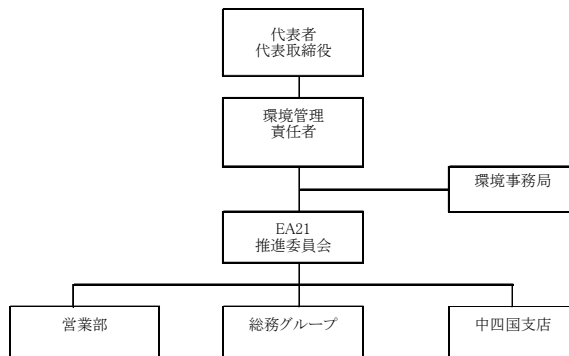
吉岡 洋明

取組の対象組織・活動

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
吉岡興業株式会社
代表取締役 吉岡洋明
- (2) 所在地
本 社 652-0898 兵庫県神戸市兵庫区駅前通2-2-6
中四国支店 769-0224 香川県綾歌郡宇多津町平山2628-627
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 総務グループ 矢野由里香 TEL:078-579-1177
担当者 総務グループ 矢野由里香 FAX:078-579-1166
E-mail:yano_y@yoshioka-kogyo.co.jp
- (4) 事業内容
産業機械の販売及び設置
- (5) 事業の規模
売上額 26 億円 (2024年度実績)
- | | 本社 | 中四国支店 | 計 |
|-------|---------|--------|---------|
| 従業員 | 29名 | 4名 | 33名 |
| 延べ床面積 | 864.40㎡ | 49.58㎡ | 913.98㎡ |
- エコアクション21対象従業員数(本社、中四国支店) 33名
- (6) 事業年度 4月～翌年3月

□実施体制図



□役割・責任・権限表

代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境経営管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示 ・環境経営活動レポートの承認 ・代表者による経営における課題とチャンスの明確化
環境経営管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境経営目標・環境経営活動計画書を確認 ・環境経営活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営活動レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営活動計画書原案の作成 ・環境経営活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・環境経営活動レポートの作成、公開 (事務所に備付けと地域事務局への送付) ・環境教育訓練計画の作成と実行管理
EA21 推進委員会 (エコアクション 担当者)	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営活動へ参加

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 吉岡興業株式会社
 対象事業所： 本社
 中四国支店
 対象外： 無し
 活動： 産業機械の販売及び設置

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	59,239	66,886	67,511	65,531
電力	kWh	36,726	40,430	37,152	37,464
ガソリン	L	16,625	18,969	20,004	19,126
軽油	L	971	954	961	888
廃棄物排出量	kg	3,945	3,660	3,675	3,613
一般廃棄物	kg	3,945	3,660	3,675	3,613
産業廃棄物	kg	0	0	0	0
水使用量	m ³	146	138	147	142
課題とチャンスの推進 環境に配慮した製品の販売。提供に努める。 ワイングマの販売	缶	164	137	167	168
社内及び社屋周辺の清掃活動に取り組む。	-	毎朝	毎朝	毎朝	毎朝

2018年度エバーグリーン・リテイリング(株)：0.492kg-CO₂/kWh、四国電力㈱：0.528kg-CO₂/kWh

当社は機械設置のみでマニフェストの発行はありません。

灯油は使用料が少ない為目標設定していません。

産業廃棄物・化学物質の使用はないため目標設定をしていません。

□環境経営目標

項目	単位	2014年度 実績	2024年度 -10%	2025年度 -11%	2026年度 -12%
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	87,681	78,913	78,036	77,159
電力	kWh	45,587	41,028	40,572	40,117
ガソリン	L	26,637	23,973	23,707	23,441
軽油	L	1,227	1,190	1,178	1,166
廃棄物排出量	kg	4,875	4,388	4,339	4,290
一般廃棄物	kg	4,875	4,388	4,339	4,290
水使用量	m ³	173	156	154	152
課題とチャンスの推進 環境に配慮した製品の販売。提供に努める。 ワイングマの販売	缶	108	119	120	121
社内及び社屋周辺の清掃活動に取り組む。	-	毎朝	毎朝	毎朝	毎朝

2018年度エバーグリーン・リテイリング(株)：0.492kg-CO₂/kWh、四国電力㈱：0.528kg-CO₂/kWh

当社は機械設置のみでマニフェストの発行はありません。

灯油は使用料が少ない為目標設定していません。

産業廃棄物・化学物質の使用はないため目標設定をしていません。

軽油のみ基準年度を2021年度とし、2024年度-3%、2025年度-4%、2026年度-5%としている。

環境経営活動の取り組み計画と評価（全社トータル数値）

期間 2024年4月～2025年3月

取組み項目	2014年度 基準値	2024年度			目標達成 評価	2025年度 目標	達成手段	達成 状況	評価の結果と次年度の取組内容	
		目標	実績	達成率						
CO ₂ 排出量の削減	CO ₂ 排出量 87,681 kg-CO ₂	78,913 -10.0%	65,351 -25.5%	120.8%	◎	78,036 -11.0%	・下記参照		・下記参照	
内 訳	電気使用量の削減 kWh	全社 総電気使用量 45,587 kWh	41,028 -10.0%	37,464 -17.8%	109.5%	○	40,572 -11.0%	・未使用時の電気消灯の徹底 ・電力不要時の負荷遮断 ・節電ポスター等の表示 ・空調温度管理(夏季は7月1日から9月30日、 冬季は12月1日から2月28日)	◎ ◎ ◎ ◎	夏季の空調機使用増があったが冬季の省エネにより目標が達成できた。
	ガソリンの削減 L	全社 営業車燃料 26,637 L	23,973 -10.0%	19,126 -28.2%	125.3%	◎	23,707 -11.0%	・アイドリングストップの徹底 ・効率の良い配車スケジュールの検討実施 ・車両の燃料使用量と走行距離のチェック ・エコドライブのすそめを社内に掲示	◎ ◎ ◎ ◎	ハイブリットカーの増車・給油時のタイヤ点検・運転方法についてもふんわりアクセルを徹底することにより燃費・使用量共に目標値を上回りました。今後も徹底し目標値を目指します。
	軽油の削減 L	本社のみ使用 営業車燃料 1,227 L (基準年度2021年)	1,190 -3.0%	888 -27.6%	134.0%	◎	1,178 -4.0%			
	燃費 km/L	全社 16.51 km/L	18.16 10.0%	25.35 53.5%	139.6%	◎	18.33 11.0%			
廃棄物の削減 kg	本社のみ 総廃棄物量 4,875 kg	4,388 -10.0%	3,613 -25.9%	121.5%	◎	4,339 -11.0%	・分別の実地 ・両面・縮小コピー・裏紙利用の徹底 ・再生紙利用の促進	◎ ◎ ◎	紙面のカタログからデジタルカタログへ移行の為、紙面のカタログを廃棄したので廃棄量が一時的に増えた。デジタル化により今後廃棄物量は削減される。	
水使用量の削減 m ³	全社 年間水資源 総使用量 173 m ³	156 -10.0%	142 -17.9%	109.9%	○	154 -11.0%	・節水シール等の表示 ・垂れ流し禁止 ・車両洗車の節水	◎ ◎ ◎	垂れ流し禁止の徹底、車両洗車時のバケツ使用を行い節水することができました。	
環境に配慮した製品の販売・提供	環境に配慮した製品を提供する ワイシグマ108缶	119缶	168缶	141.4%	◎	120缶	・環境に配慮した製品を提供する (ワイシグマ・他)	◎	環境に配慮した製品をお客様に提供するよう今後努めていく。	
社屋周辺の清掃活動への取組	地域美化運動への取組み 毎朝	毎朝	毎朝	100%	○	毎朝	・社内及び会社周辺の緑化と清掃	◎	毎朝清掃活動を実施し地域の美化に今後も務める。	

達成状況: ◎よくできた120%以上 ○100%以上まあまあできた △95%以上あまりできなかった ×95%以下全くできなかった

※軽油のみ基準年度を2021年度とし、2024年度-3%、2025年度4%としている

環境関連法規制等の遵守状況

法的義務を受ける主な環境法連規制は、次の通りである。

法規制等の名称	遵守すべき要求事項	評価
廃棄物処理法	一般廃棄物・産業廃棄物の適正処理	遵守
自動車NOx・PM法	ディーゼル車・ガソリン車の自動車排出窒素酸化物等の抑制	遵守
消防法	火災報知機の設置と定期点検	遵守
	消火器の設置と定期点検	遵守
フロン排出抑制法	フロン類使用機器の簡易点検・定期点検と記録、漏洩防止	遵守
	廃棄時の適切な処理	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去5年間ありませんでした。

代表者による全体の評価見直し・指示

当社は2011年3月にエコアクション21の認証・登録を受け、2024年度をもって14年間、環境経営活動を継続してまいりました。この間、CO₂排出量削減を中心に、省エネルギー推進、設備の高効率化、運用改善等に計画的に取り組み、継続的改善を実践してきました。その結果、当初計画していた主な削減施策は概ね実施され、環境負荷低減について一定の成果を達成しております。

環境経営方針、環境経営目標の管理方法、環境経営計画および実施体制については、現在の事業内容および社会的要請に照らし適切であり、有効に機能していると評価します。そのため、基本方針および運用体制についての大きな見直しの必要はないと判断します。

一方、CO₂排出量削減目標については、これまで「年1%削減」を目標として取り組んできましたが、14年間の実績の蓄積および削減余地の縮小、設備更新状況、事業活動の実態等を総合的に検証した結果、従来と同様の削減率を継続することは現状に即していない段階にあると評価しました。

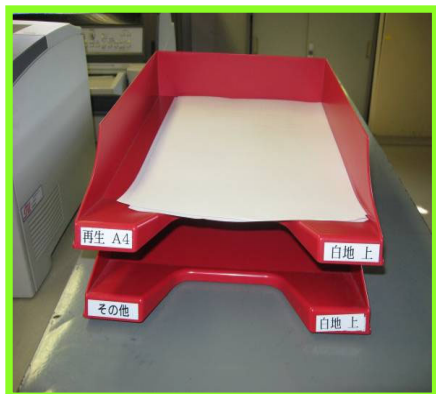
したがって、2024年度の評価を踏まえ、CO₂排出量削減目標については、これまでの実績および現在の事業実態を反映した持続可能かつ実効性のある目標へ見直すことを決定します。

なお、本見直しは環境への取り組みを後退させるものではなく、長期的かつ安定的に継続的改善を実行するための適正化であります。今後も管理の徹底、日常的な省エネルギー活動の継続、設備更新時の高効率機器導入検討等を通じて、着実な環境負荷低減を推進するよう指示します。

当社は今後も、脱炭素経営の推進を通じて地域社会への責任を果たすとともに、企業価値の向上に努めてまいります。

2025年4月4日
吉岡興業株式会社
吉岡 洋明

環境経営活動紹介



裏紙の利用



脱炭素提案サイト開設



LED照明の導入



電気自動車の導入



エアコンフィルター取付による省エネ



環境に配慮した商品の販売